

特別研究室企画展示

100年後も手に取れる本に～内田嘉吉文庫修復報告 2020～



『考証切支丹鮮血遺書（きりしたんちしほのかきおき）』（松崎實著 / 1926年）

2019年度、日比谷図書文化館特別研究室では内田嘉吉文庫をはじめとする特別研究室所蔵資料計15点の修復を行いました。そこで、修復報告の一環として、修復を終えた資料とその作業記録を公開します。今回は糸綴じのみならず、針金綴じ、釘綴じの資料の修復も行われ、材料や技法の創意工夫により、安心して手に取ることができるようになりました。また、前年度以前の展示中に破損した本の修復も行われました。特色ある製本の形を残しつつ、活用と保存の両立のためにはどのような修復が必要か、実物と修復作業の記録パネルをご覧ください。

■ 開催概要

- ・会期：開催中～12月28日（月）＊休館日：11月16日（月）、12月21日（月）
- ・開室時間：平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日曜・祝日 10:00～16:00
- ・会場：4階特別研究室 ・入場無料

■ 関連講座

「産業化された製本の修復 ー針金針金綴じと釘綴じについてー」

- 講師：岡本幸治（製本家、書籍修復家）
- 日時：11月29日（日）14:00～15:30（13:30開場）
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール） ○ 定員：60名
- 参加費：1000円（千代田区民・学生500円）＊住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、または電話（03-3502-3340）

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、高野 takano-yuta@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340 / FAX：03-3502-3341  
ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/